

発泡スチロール球で分子模型を作ろう in 岩見沢

2010. 2. 6 小樽分子模型の会 齋藤一郎

ichirokasetu@yahoo.co.jp <http://www17.plala.or.jp/ichirokasetu/>

2009年11月14日に、岩見沢市のイベントホール赤れんがで行った「発泡スチロール球で分子模型を作ろう」のようすをお伝えします。

申し込みは3人だったけど

5月に続いて、2009年は2回目の分子模型作りをイベントホール赤れんがの学習室で行いました。この日の申し込みは3人でした。それもみんな初めての人ばかりです。でも、我が家の真理歌と亜理沙も参加したので、子どもは5人、お手伝いの大人が3人、その他に岩見沢仮説サークルのみんなが最後に顔を出してくれたので、ずいぶんと人の多い分子模型作りだなーと感じました。

参加した人

鈴木京介さん（岩見沢市志文小3年）、
鈴木将斗人さん（天使幼稚園年長）
川浪陸斗さん（岩見沢市第2小）
齋藤真理歌（小樽市長橋小5年）
齋藤亜理沙（小樽市長橋小5年）

いつものように最初は水とエタノール

10時までになんとか会場を準備し、ほぼ時間通りに分子模型作りを始めることができました。最初は水からです。案外、赤の酸素をギリギリで切ることがイメージづらいことに気づきました。何か良い表現はないのでしょうか？ でも、ギリギリという言葉は残したいから、説明の仕方を工夫しなければならないのかな？

とりあえず、なんとか1時間弱で、水とエタノールを完成することができました。



何を作ったのかな？

申し込みの段階では、「ドライアイス、氷、砂糖、サリン、ダイオキシシ」ん」とけっこう大物がリクエストされていました。でも、水とエタノールを作って、結構疲れたのか、見本を見て、小さめのものから作り始めました。

それでも最終的には、目標にしていた分子模型を作ることができたようです。

— 作った分子模型 —

水、エチルアルコール、ニコチン、
ドライアイス、ダイオキシシ、
硫化水素、空気、氷、水たくさん、
硫酸、硝酸、フロン12、サリン

感想と評価

我が家の真理歌と亜理沙には、評価と感想を書いてもらわなかったのですが、他の3人はしっかり評価も感想も書いてくれました。評価は3人とも「とてもたのしかった」を書いてくれました。ありがとうございます。

— 感想と評価 —

- ・とてもたのしかったから、またやりたいです。(鈴木京介さん, 5)
- ・すごく楽しかった。切るのが1番楽しかったです。(鈴木将斗さん, 5)
- ・とてもたのしかった。またやりたいです。(川浪陸斗さん, 5))

お手伝いのお母さんからも「年長の息子と一緒に参加させていただき、と一ても楽しかったです」と書いていただきました。みなさんが喜んでくれるのが一番うれしいです。

次回は？

なんと今日です。うーん。せっかく感想を書いたのに、紹介するのが遅くなってしまいました。許してください。さあ、今日もたくさん作ってね。

